【おいらせ町】達成基準チェックリスト

JIS細分箇条	達成基準	解説	適合レベル	適用	結果	注記
1.1.1	非テキストコンテンツの達成基準	画像やボタンなど、文字以外のコンテンツには、それらと同等の目的を果たす代替テキストを提供する。	A	適用	適合	
1.2.1	音声だけ及び映像だけ（収録済み）の達成基準	音声のみ、または映像のみのコンテンツには、それらと同等の目的を果たす代替テキストを提供する。	A	適用なし		対象範囲内に該当する音声及び映像コンテンツなし
1.2.2	キャプション（収録済み）の達成基準	動画コンテンツに対して、音声情報と同じ内容の字幕（キャプション）を提供する。	A	適用なし		対象範囲内に該当する音声及び映像コンテンツなし
1.2.3	音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）の達成基準	動画コンテンツに対して、映像情報を伝える代替コンテンツ、もしくは副音声などの音声ガイドを提供する。	A	適用なし		対象範囲内に該当する音声及び映像コンテンツなし
1.2.4	キャプション（ライブ）の達成基準	生放送の動画コンテンツに対して、音声情報と同じ内容の字幕（キャプション）を提供する。	AA	適用なし		対象範囲内に該当する音声及び映像コンテンツなし
1.2.5	音声解説（収録済み）の達成基準	動画コンテンツに対して、映像情報を伝える副音声などの音声ガイドを提供する。	AA	適用なし		対象範囲内に該当する音声及び映像コンテンツなし
1.3.1	情報及び関係性の達成基準	情報は、プログラムが情報の意味を解釈できるように実装する。 （例）リストはテキストの「・」で表現するのではなく、システム内のリスト（箇条書き）機能を用いる。	A	適用	適合	
1.3.2	意味のある順序の達成基準	コンテンツを意味のある順序で並べ、音声読み上げソフトなどを使用しても、意図通りの順に情報が伝わるようにする。	A	適用	適合	
1.3.3	感覚的な特徴の達成基準	音声読み上げソフトでは形や大きさ、方向など感覚的な情報を理解できないため、テキストで情報を伝える。 （例）「三角形のボタンをクリックしてください」→「検索ボタンをクリックしてください」	A	適用	適合	

1.4.1	色の使用の達成基準	色を用いて情報を伝えるときは、色だけではなく、テキストでも情報を伝える。 （例）入力フォームの必須項目を赤色で示すだけではなく、各項目にテキストの「必須」を設置する。	A	適用	適合	
1.4.2	音声の制御の達成基準	音楽などの音声が、ページを開いたときに自動で再生しないようにする。また、再生・一時停止などをユーザーがコントロールできるようにする。	A	適用なし		対象範囲内に該当する音声及び映像コンテンツなし
1.4.3	コントラスト（最低限レベル）の達成基準	文字（画像文字も含む）と背景色は、少なくとも4.5：1のコントラスト比をもたせ、視認性を高める。	AA	適用	適合	
1.4.4	テキストのサイズ変更の達成基準	テキストの大きさは固定せず、ブラウザなどの機能で200%まで拡大し、通常のサイズと同じように情報を理解できるようにする。ただし、ロゴや画像化された文字は除く。	AA	適用	適合	
1.4.5	文字画像の達成基準	ロゴなど必要不可欠なものを除いて、文字は可能な限り画像化せずにテキストで提供する。	AA	適用	適合	
2.1.1	キーボードの達成基準	ページ上のすべての機能をキーボードのみでも操作できるようにする。ただし、ペイント機能など、マウスの軌跡などを利用する機能は除く。	A	適用	適合	
2.1.2	キーボードトラップなしの達成基準	キーボードを用いてページ上の機能にアクセスしたとき、キーボードでその機能から抜け出せるようにする。	A	適用	適合	
2.2.1	タイミング調整可能の達成基準	コンテンツを利用するのに制限時間を設定する場合は、利用者が設定時間の解除などをできるようにする。	A	適用なし		対象範囲内に、本達成基準が挙げる条件に該当するコンテンツなし
2.2.2	一時停止，停止及び非表示の達成基準	スライドショーや動画などの動きのあるコンテンツは、利用者が一時停止・停止・再生などをできるようにする。	A	適用	適合	
2.3.1	3 回のせん（閃）光、又はしきい（閾）値以下の達成基準	閃光を放つコンテンツがある場合、閃光する場所を十分に小さくし、1秒間に3回以内にする。	A	適用なし		対象範囲内に、本達成基準が挙げる条件に該当するコンテンツなし

2.4.1	ブロックスキップの達成基準	ナビゲーションなどのメニューをスキップすることができる機能を設置する。 （例）ページ先頭に「本文へジャンプ」などのリンクを設置する。セクション毎に見出し要素を設置する	A	適用	適合	
2.4.2	ページタイトルの達成基準	ページの目的やサイトとの関連性がわかるようなページタイトルをつける。	A	適用	適合	
2.4.3	フォーカス順序の達成基準	リンクやボタンなどは、コンテンツの順番や関連性に従った順でフォーカス移動できるようにする。	A	適用	適合	
2.4.4	リンクの目的（コンテキスト内）の達成基準	テキストリンクは、可能な限りそれ単体でリンク先のページを理解できるようにする。	A	適用	適合	
2.4.5	複数の手段の達成基準	各ページに訪れる手段を、いくつか用意する。 （例）本文等からの移動の他に、サイトマップからも移動できるようにするなど。	AA	適用	適合	
2.4.6	見出し及びラベルの達成基準	見出しやラベルなどは、目的や内容がわかるようにする。	AA	適用	適合	
2.4.7	フォーカスの可視化の達成基準	キーボードを用いてコンテンツにフォーカスを移したとき、視覚的にフォーカスが移動したことがわかるようにする。 （例）画像にフォーカスを移したときに、画像が波線で囲まれるなど。	AA	適用	適合	
3.1.1	ページの言語の達成基準	言語属性を用いてページの主要な言語が何かをプログラムが理解できるようにする。	A	適用	適合	
3.1.2	一部分の言語の達成基準	主要ではない言語がページ内に現れたときは、その言語が何かをプログラムが理解できるように、言語属性を用いる。	AA	適用	適合	
3.2.1	フォーカス時の達成基準	すべてのコンテンツは、フォーカスを受け取っただけで状態が変化（実行）しないようにする。	A	適用	適合	

3.2.2	入力時の達成基準	フォームなどの設定を変更するだけで、自動的に状態が変化（実行）しないようにする。ただし、利用者が使用する前にその挙動を知らせてある場合を除く。	A	適用	適合	
3.2.3	一貫したナビゲーションの達成基準	複数のページで繰り返し表示されるメニューなどのナビゲーションは、どのページでも同じ順序で表示する。	AA	適用	適合	
3.2.4	一貫した識別性の達成基準	ウェブサイトの中で同じ機能をもつものは、すべて同じラベルや代替テキスト、識別名などを設定する。 （例）「検索」ボタンに対して、「検索」という同じ代替テキストを設定する。	AA	適用	適合	
3.3.1	エラーの特定の達成基準	問い合わせなどの入力フォームで入力エラーがあった場合、エラーの内容が容易に伝わるようテキストで情報を伝える。	A	適用	適合	
3.3.2	ラベル又は説明の達成基準	お問い合わせなどの入力フォームで、フォームに適切なラベルを提示し、また必須の有無、入力制限（半角英数のみなど）や入力例を提示し、利用者が入力ミスをしないようにする。	A	適用	適合	
3.3.3	エラー修正の提案の達成基準	お問い合わせなどの入力フォームで、入力ミスがあったときなどに、適切と思われる修正候補を提示する。	AA	適用	適合	
3.3.4	エラー回避（法的，金融及びデータ）の達成基準	利用者に所得税申告などの法的な義務が生じたり、金銭のやり取りが発生したりする場合、情報を送信する前に必ず確認や修正が出来るようにするなどして、利用者が間違いをしないようにする。	AA	適用なし		対象範囲内に、本達成基準が挙げる条件に該当するコンテンツなし
4.1.1	構文解析の達成基準	ウェブページのHTMLやCSSなどは、仕様に準拠したものにする。	A	適用	適合	
4.1.2	名前（name），役割（role）及び値（value）の達成基準	ウェブページの各機能は、仕様に準拠し、ブラウザなどのプログラムが情報を解釈できるようにする。	A	適用	適合	